

# 人民新聞

発行所：人民新聞社

〒567-0815 大阪府茨木市竹橋町 2-2-205  
TEL (072)697-8566  
FAX (072)697-8567  
Maito: people@jimmin.com  
URL: http://www.jimmin.com  
Twitter: @jimminshimbun  
郵便振替口座: 00940-5-333195

- ② 現地インタ警察が香港大学を襲撃
- ③ ナショナリズムは飼い慣らせるか
- ④ 反天皇制各地報告②/連載反五輪
- ⑤ 伝わりにくい化学物質過敏症
- ⑥ 正規雇用を外れたら復帰困難
- ⑦ レバノン、チリ等世界中で民衆蜂起

**福井から  
兵庫から  
関電本店  
を包囲**

老朽原発うごかすな！キャンペーン/高浜原発から、姫路から関電本店へリレーデモ

## 金まみれの関電に「安全」意識なし 再稼働阻止運動に垣根越えた結集が実現

若狭の原発を考える会・橋田 秀美 / 高浜原発うごかすな！実行委員 高橋 精巧



「老朽原発うごかすな」リレーデモ  
(姫路-神戸-関電本店コース) 5日目

高浜町や自民党への多額の賄賂が発覚しても、原発を止めず、危険極まる老朽原発差の再稼働を狙う関西電力。これを止めるために、北は高浜町、西は姫路市から関電本店へ向かうリレーデモが始まった。反響が大きいという。両コースの主催者から行動の思いを書いて頂いた。(編集部)

**キャンペーンとリレーデモを貫徹し  
原発全廃へと大きく前進しよう！**

若狭の原発を考える会 橋田 秀美

45年越えにもなるろうと、さんが各地で多彩な企画する高浜1、2号機、美浜、を実行中です。

3号機の老朽原発が、来 年11月23日からは、高浜の夏・秋にも再稼働される11月23日からは、高浜れようとしています。「原発を出発し関電本店まで200kmを徒歩でつなぐリレーデモ。関電に阻止すべく、10月1日に到着する12月8日には、11月22日を「老朽原発うごかすな！キャンペーン期間」とし、関西、福井、名古屋などに呼びかけました。呼応した皆

デモが10月7、11日に行なわれています。

キャンペーン期間中、福井では県内単独リレーデモが10月7、11日に行なわれています。

名古屋でも、老朽原発廃炉訴訟を闘うみなさんが、協賛企画を実行中。奈良でも、東大阪を経由する企画が実行されています。兵庫では11月2日に姫路を出発し、明石神戸を経て12月8日、高浜から歩きつなぐリレーデモに合流する大企画を実行中(2面下)ですが、その反響の大きさに驚きの声があがっています。高浜からのリレーデモ期間中の11月30日には、滋賀県高島で嘉田由紀子参議をむかえた集会も企画されています。

### 原発止めるのは市民の行動

そんななか、関電の原発マネー還流が明るみに出て、人々の大きな怒りを買い、関電の幹部の還流は、関電の幹部のみならず、自治体役員、政治家などに広がりを見せています。原発というシステムがいかに金を生み、回し、一部の人間を肥すだけの麻薬のようなものかが、はつきりと炙り出されたと言えます。金まみれの関電幹部は「安全意識など二の次。老朽原発再稼働などもうのほかです。」

原発再稼働の禁止を判示した樋口元裁判長の言葉を紹介します。「原発は、総理が止めると言ったら止まる。立地自治体

### 言論弾圧に抗し、年末カンパにご協力を!

「公金の私物化」「桜を見る会」の実態は、「驚き」というより、「森加計疑惑」の再演のよつです。公文書処分も、官邸を忖度する輩が権力と利益を得る官僚機構が強化されていることが明らかになりました。独裁化と腐敗に對抗する民衆運動やメディアの飛躍が求められています。

世界に目を向ければ、政治腐敗と資本主義に対する民衆蜂起がレバノン、チリ、ハイチ、エジプトなどで拡大しています。末期症状を呈する資本主義に代わる「もう一つの世界」「新たな社会」を構想する時代です。

兵庫県警による編集長不当逮捕、自宅捜査から2年。編集部は弾圧を跳ね返し、国賠訴訟を続けています。紙面作りにおいても、文化欄を充実させて若い世代との結合を進め、8割化も定着しました。2020年は、さらなる自己変革・飛躍をめざします。年末カンパへの協力を訴えます。

① 年末カンパにご協力を!  
② 滞納紙代の振込、購読の継続を!  
③ 読者拡大! 友人・知人の紹介を!

**ぷりずむ**  
週に一度 西宮の山の方面で無農薬野菜を作っている人が、それを届けられる。また玄米、豚肉、魚などを生産者から直接届けてくれる共同購入の会とも、30年来的つきあいだ。こちらも週に一度届けてくれる。このようなやりとりは、思いのほか大切なことなのかも知れない。資本主義は拡大し続けなければ存続しない。資源を奪ってきた周辺が小さくなって内部からの収奪を強め、格差を拡大し、国家を私物化してきた。そうしなければ資本主義は維持できない。日本ではアベ政治だ。そして今、資本主義の終焉が言われる。では資本主義の次の段階の生産関係はどうなるのだ? その一つが、生産者と消費者が配達人を仲立ちに直接つながり、その輪が横に広がり、生産、配達、消費の人らが互いに敬いあう関係なのだ。このようなつながりの積みあげと広がり、人の尊厳を奪う権力に対する闘いと結びつくと、政治を変え、経済ではなく人を第一とする世を生みます。人は金儲けの資源ではない。人それ自身が尊厳あるものとされる世であらねばならない。無農薬の野菜を直接受け取ることは、その始まりだ。だが、前途は長い。これはまさに長征だ。(5)

# 香港

## 【警察が大学を襲撃】 攻防は年を越す 「暴徒はいない 暴政あるのみ」

香港中文大学非常勤教師 小出雅生さんインタビュー

11月20日、香港当局は香港理工大學に立て籠もっていたデモ隊の制圧を発表した。理工大學の落城はデモ隊の勢いを大きく削ぐとの評価もあるが、あからさまな警察の暴力による被逮捕者・負傷者の多さからしても、容易に収束することはないだろう。

理工大に先だって警察の襲撃を受けた香港中文大學で教鞭をとる小出雅生さんに緊急電話インタビュー。長期化の理由や市民の反応などを聞いた。

(文責・編集部)

編集部：現状は？

小出：香港中文大學が警察によって封鎖された際、段崇智学長が「休戦」合意交渉のため、警察が張つた非常線に近づこうすると、警察は催涙弾を発射し、学長は催涙ガスに包まれ入院しました。

香港理工大學でも、学長が、警察に武器使用の一時停止を、学生に平和的に大学を離れるよう求める声明を発しましたが、警察がこれに応じることがなく、立て籠もる学生に対して「実弾使用の可能性」を警告。校外に退去してきた救護担当の学生すら逮捕されています。

逮捕されたデモ参加者は千人を超えており、負傷者の数も増え続けています。被逮捕者の長期拘留や刑事訴追がどうなる

のか？ 予断を許しません。

編集部：学生たちの要求やスローガンは？

小出：「5大要求」①逃亡犯条例改正案の完全撤回、②市民活動を「暴動」とする見解の撤回、③デモ参加者の逮捕、起訴の中止、④警察暴力の責任追及と外部調査、⑤行政長官の辞任と普通選挙をすべて実現するまで、抗議を続けるというスローガンは、今も叫び続けられています。

最近「香港人は反抗する」「沒有暴徒、只有暴政」(暴徒はいない、暴政あるのみ)などに変化してきています。暴力の連鎖は、どっちもどっちではなく、暴政に責任があるという主張です。

運動の合言葉は「BIB WATER(水のようになれ)」です。容れ物によって自在に形を変える水のように、事態に柔軟に反応しながら抗議を続けるという意味です。長年にわたる植民地の歴史・経験のなかで、国家に頼らず生きてきた香港人のアイデンティティも表現しています。

編集部：長期化の理由は何？

小出：まず、歯止めのない警察の暴力です。コン

トロールが失われていると思われ、若者たちは一歩も引けないと感じています。警察側も「デモ制圧まで手を緩めない」という固い意思を感じます。

「必要」と回答しています。街頭では、「チャイナチ」という落書きも見られるようになりまし。チャイナチ中国とナチズムを重ねた批判です。北京政府への批判も含まれてい

度への怒りは、一般市民層にも浸透しています。香港中文大學や香港理工大學は交通の要衝にあるので、大学封鎖によって香港での移動は麻痺状態となりました。香港政府と警察は、この市民の不満の矛先をデモ隊に向けようと躍起になって、「過激派学生」非難宣伝をくり返しています。政府寄りメディアの一部もデモを敵視し、香港政府の主張に沿った報道をくり返しているの、市民の反感を買っています。先に紹介した「市民対話集会」のテレビ報道では、紹介された4人の市民のうち3人が警察擁護の市民という偏向ぶりを見せつけました。

次に、香港政府に対する強い不信感と失望です。100万人デモ(8月30日)の後、林鄭(キャリーラム)行政長官は、市民対話集会を行いました。従来主張をくり返すのみで、「対話」のアイ

望を背景として、「自由・法治・多元主義」の価値を共有する香港人というアイデンティティが形成されつつあります。

習近平政権は、香港の騒乱が中国本土に飛び火することを恐れていますので、徹底した取り締まりの方針を変えることは

「超危険・老朽原発うごかすな！リレーデモ」が呼びかけられているなか、7月26日に350回目を迎えた姫路の金曜行動「関西原発止めて！」に、電さん原発止めて！」に、若狭の原発を考える会、木原壯林さんをはじめとして5人が参加されました。その夜の交流会で、「兵庫もリレーデモをしてみたいはどうですか」と、柔らかな呼びかけがありました。3・11福島原発事故の

## 原発老朽が動かす 兵庫の脱原発運動

リレーデモ実行委員 高橋精巧

「超危険・老朽原発うごかすな！リレーデモ」が呼びかけられているなか、7月26日に350回目を迎えた姫路の金曜行動「関西原発止めて！」に、電さん原発止めて！」に、若狭の原発を考える会、木原壯林さんをはじめとして5人が参加されました。その夜の交流会で、「兵庫もリレーデモをしてみたいはどうですか」と、柔らかな呼びかけがありました。3・11福島原発事故の

大きな衝撃で、兵庫県には、脱原発運動の市民団体が6つ存在していました。当初は、活動も活発で、6団体共催の講演会なども企画していましたが、徐々に関係が薄れていきました。今回のリレーデモ呼びかけで、この6団体に連絡をとって共催を呼びかけました。

「無謀じゃない？」といった意見もありましたが、「リレーデモならやる

の危険性に関する講演の後、脱原発運動・神戸の金曜行動のリレースピーチや、「今こそ原発止める」(替え歌)を交えて、交流しました。

3日は、加古川駅まで約10km、4日は明石駅まで約21km、6日はJR須磨駅まで約12km、13日はJR神戸駅まで約8kmを、数十人でリレーしました。最終日の12月8日には、大阪中之島にある関電本店に向けて各地からスタートしたリレーデモの仲間が集結し、14時から関電本店前で1000人を超える大集会が開かれます。これを目標として歩き続けます。



新長田駅前の鉄人28号の前で集合写真

その夜、神戸で「リレーデモ」呼びかけ集会を開催し、80人参加のなかで、木原壯林さんの「若狭老朽原発

12/8 関電本店 前に向かって 11月2日、リレーデモ初日の出発集会(JR姫路駅)は、地元議員や木原

香港

中文大学 バリケードで応戦 全土で市民が連帯デモ

小林 遥

11月12日香港、5カ月以上延焼し続けている香港民主化運動は、香港中文大学の戦いでピークに達した。前日の攻防戦に続いて香港警察は、朝7時から大学キャンパスに不法侵入しようとした。午後にはいると、香港警察の催涙弾、ゴム弾に



▲段崇智学長が「休戦」を主張する近頃。警察と学生は衝突した。

▼学内の救援の様子



対応についても報告 傷者が出た。 学生側には60名以上の負傷者が出た。

20時頃、混乱の中、学生たちは防衛ラインを死守しながら、「光復香港、時代革命」の黒い旗を振り始めた。学生たちの闘いを見て、香港市民は決して見殺しにできなかった。

市民たちは、「人間の鎖」で大学に物資を運び、前線に直接参加する市民もいた。これに加え、警察の戦力を分散させるため、すべての地区で一斉デモも行われた。このため11月12日は、香港すべての地区が、催涙弾の洗礼を受けたのである。 中文大学生と市民の反側を要求したにもかかわらず、一

歴史修正主義に毒される日本 ナショナリズムを 飼い慣らすことができるか

下地 真樹



阪南大学准教授 下地 真樹



2018年10月、韓国大法院が徴用工問題について、植民地支配の不法性を踏まえつつ個人請求権を認め、日本企業に賠償を命じる判決を出した。言うまでもないことであるが、事態の本質から考えても、昨今の国際人権法の世界的潮流から見ても、まっとうな判決としか言いようがない。ところが、この判決をきっかけに日韓関係は急速に悪化し、今なお関係改善の糸口は掴めていない。

状況の異常さを際立たせているのは、日本におけるこの問題に関する論調である。どういう立場を取るにせよ、相手方の主張をできるだけ正確に理解するよう努めるのは、基本中の基本のはずだ。ところが、そのような知的誠実さはどこにも見られない。「韓国は約束を守らない信用ならぬ国だ」という言い捨てのプロパガンダが垂れ流され、そうだと付和

最近では、「ナショナリズムを全否定すべきではない」という意見が増えてきているように思う。第一に、素朴な愛郷心、パトリオティズムのような面については、共感する人も多いのだろう。第二に、かつて植民地にされた地域に住む人々の「抵抗のナショナリズム」への共感もあるかもしれない。つまりは、「良いナショナリズム」と悪いナショナリズムがある。「ナショナリズムは悪い面もあるが、そこをうまく制御することが大事」、そんなふう整理できる。 現実にはナショナリズムが広く支持を集めていることへの諦念もあるかもしれない。スポーツイベントのたびに打ち振られる国旗、あるいは

雷岡が付き従う。異様としか言いようがない。 排外主義的な、フアナティックな、ナショナリズム。こんなものは拒絶以外にありえないと思うのだが、一つ問題がある。私たちが拒絶するのは、問題のある一部のナショナリズムなのか。それとも、ナショナリズム全体なのか。

「新天皇即位」に伴う狂騒を見るに、少なくとも短期的にはナショナリズムと付き合っていくかざるをえないのかな、という考えもわからないではない。 しかし、ナショナリズムを飼い慣らすことは可能なのだろうか。ナショナリズムが排外主義に反転してしまう。その原因の一つは、ナショナリズムが科学的思考や学問的手続きを尊重しない傾向性にある、と私は思う。なぜそうなるのか。ナショナリズムには、国民や民族の物語が伴うことが多い。そこには明らかな嘘が含まれることもある。たとえば、「万世一系」だの「現存する世界最古の王朝」といった話であるが、これらは歴史学的には到底支持できない。しかし、ナショナリズムの側から見れば、こうした誤りをいっさい指摘する実証的な歴史学は、邪魔もの以外の何物でもないだろう。

だから、ナショナリズムにはしばしば、客観的知識の探究という学問の営みそのものを軽蔑したり、敵視したりする傾向がある。そして、この傾向性は、人の話を聞かず、都合の悪い情報は無視したまま、自己の立場に固執する態度につながるのではないか。他者が生きている現

実や過去の経緯についてきちんと知ろうとする 知的誠実さを失うのではないか。 歴史修正主義あるいは 反知性主義と手を切ること

# 天皇制 NO 続々不当弾圧 暴力に支えられる天皇制

## 天皇即位式・大嘗祭反対 各地報告②

前号に続き、天皇即位式・大嘗祭への全国反対行動を現地情報をもとにお伝えする。(編集部・園)

### 〈札幌〉

札幌では、即位式直前(10月16日)にデモの主権者1名が不当逮捕された。亡くなった友人の遺言に基づいて、銀行口座から現金を引き出したことが「窃盗罪」という。同グループは、昨年、大阪でも銀行口座が弾圧されている。誰もが当たり前に行う銀行送金を犯罪化し、仲間を支えあいを引き裂こうとするのは、本紙編集長への弾圧と同じ。

それでも即位式反対集会・デモは、北海道高等学校教職員センターに約27人が集まり行われた。実行委は「神話に基づく神道儀礼を国事行為で行うのは憲法違反」と批判。沖繩辺野古「ヘリ基地反対協議会」共同代表の安次富浩さんは、沖繩と天皇制をテーマに「天皇制を守るために戦争を長引かせた結果、沖繩は県民

の4人に1人が死ぬ地上の犠牲にされた」と話した。集会後、大通公園へ向けデモ行進した。

### 〈大阪〉

即位式(10月22日)・大嘗祭(11月14日)には、300人が中之島中央公会堂前に集まり、西梅田公園へデモした。「大嘗祭は天皇が急造した鳥居の下に布団をしき、夜中にセックスの真似事をして人から神へ生まれ変わるというおぞましい儀式。これを許し、莫大な税金を使わせてはいけない」と発言。14日、参加者「森友学園問題を考える会」からは、「(同疑惑は)天皇を絶対視する教育勅語を教え込むような学園だから反対を始めた。天皇制にも安倍政権にも反対しよう」と訴えた。

### 〈東京〉

首都高を全面通行止めにするなど戒厳体制。10月22日の即位式反対デモには500人が参加したが、警視庁は3名を公務執行妨害で逮捕。全国から抗議が集中し、31日までに全員釈放された。

11月14日、皇居前・東京駅丸の内広場に150人が集まり、大嘗祭抗議集会が行われた。フェミニストグループ「紅一点」や「女性と天皇制研究会」は、社会に蔓延する女性差別の元凶は天皇制の家父長制であることなどを批判。東日本台風災害を無視して強行された即位パレードと過剰警備も強く批判された。12月7日には「終わりにしよう天皇制」大会と集会・デモが千駄ヶ谷区民会館で行う予定だ。

デモでは、元「在特会」が、「非国民! 名ばかり労働組合! こんなデモやらせてくださいね!」と罵声を浴びせ続けた。警察に守られながら妨害する右翼、警察権力の本音を右翼に言わせる構図だ。

不当逮捕が続いているが、天皇制への怒りはさらに増幅している。

## 東京五輪の返上を

### 第4回 ジェンダーの牢獄としての五輪 インターセックスの選手セメニャに IOCがドーピングを奨励

神戸大学大学院国際文化学専攻教授 小笠原博毅

五輪は、明確な性別分離主義を原則としている。競泳のリレーや卓球のダブルスなど、男女混合のチーム競技もありはする。しかし、そのメンバーが「男」であるか「女」であるかは、あらかじめ決められていなくてはならない。五輪で競技するには、その分離主義を受け入れなければならない。

性的アイデンティティのゆらぎや多様性が「例外視」されてきたことへの批判が一般化している。現在でも、五輪は変わらない。だから、女子

生まれてからずっと女という自覚のもとに、女として生きてきたセメニャは、体内に精巣に相当する男性内性器を有しているインターセックスである。そのため、男性ホルモンの一種テストステロン値が相対的に高い。

IAAF(国際陸上競技連盟)、IOC(国際オリンピック委員会)、そしてCAS(国際スポーツ仲裁裁判所)は、セメニャを「性未分化症」と判断し、女として競技することを禁じた。出場するためにテストステロン抑制剤の服用が義務付けられた。

抑制剤義務化は、彼女にとっては「差別的だが、競技の公平性を保つために必要な処置」だというのである。しかし、自然状態にある身体を化学的処方で変化させるといふ

意味で、皮肉なことにはこれは明らかなドーピングの奨励である。セメニャの強さと速さは、男性ホルモンの値が人より少し多いという理由だけで「不正」だとみなされる。しかし彼女の自己ベスト1分54秒25は、世界記録どころか、歴代4位にすぎない。また上には3人のランナーがいるのだが、今までセメニャに勝てなかった選手たちは、口々に「不公平」

彼女たちの発言は、「人種、宗教、政治、性別」その他に基く、国もしくは個人に対する差別は、いかなるかたちの差別であつても、オリンピックムーブメントへの帰属とは相入れない」という五輪憲章に違反してはいないだろうか。

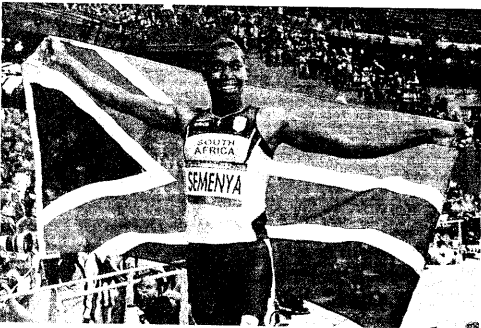
日本女性初の五輪メダリストである人見絹枝はかつてその日記に、「男にかつていかにしても男に於て、強く生きよ、愛する女等」(1924年1月13日「人見絹枝日記」と記し、女性アスリートにエールを送った。自分たちが勝てない理由を、セメニャが押し付けられた性別のせいにする白人選手たちの耳に、人見の言葉はどのように聞こえるのだろうか。

セメニャのキャリアは、他人から決められる性別を訴えてきた。イタリアのエリザベッタ・オネは、「彼女(セメニャ)は男」だと言いつつ、イギリスのリンジー・シャープは、テレビカメラの前で涙をこぼしながら「この競技は不公平、男と戦っても勝てない」と訴えた。リオ五輪で5位だったポーランドのヨアンナ・ヨズヴィクは、「私は白人としては2位」だと言いつつ切った。

他人から決められる性別を訴えてきた。セメニャのキャリアは、他人から決められる性別を訴えてきた。イタリアのエリザベッタ・オネは、「彼女(セメニャ)は男」だと言いつつ、イギリスのリンジー・シャープは、テレビカメラの前で涙をこぼしながら「この競技は不公平、男と戦っても勝てない」と訴えた。リオ五輪で5位だったポーランドのヨアンナ・ヨズヴィクは、「私は白人としては2位」だと言いつつ切った。

との戦いだった。彼女は五輪で走りたかった。だから、彼女を理由に五輪を批判するこのような文章を、彼女はきつと受け入れないだろう。

しかしそれでも書かなくてはならないのは、セメニャの存在こそが、五輪の制度的規範が大きく見直されるべきであるということの証明になりうるからである。スポーツする自分の性別を、数値だけを理由に勝手に他人が決めてしまうのだ。IOCが特定の選手の自己決定権を否定し、機会を奪い、選手としての権利を侵害していることに、もっと批判的な目を向けるべきではないのか。(※連載は年明けから再開します)



勝利を祝うセメニャ選手

# 質物過敏学化過

## 「香害」に立ち向かい、米軍基地に反対する 低線量被ばくや電磁波と同じ 苦しさが伝わりにくい辛さ

中塚 智彦さん（（京都府・豊楽） インタビュー）

洗剤や消臭剤に含まれる芳香成分の有害性が注目されている。全く気にならない人から微量でも気絶してしまう人まで、「反応がまちまちであるため、「香害」は無視されがちだ。京都市内で飲食店を営みながら京丹後の米軍基地反対運動に關わり続けている中塚智彦さん（43）は、2018年3月に「化学物質過敏症」の診断を受けた。特効薬のないこの病気とどう立ち向かっているのか、お話を聞いた。（文責・吉田）

中塚：若い頃スポーツマンで体力には自信があったのですが、去年の3月に原因不明の腸閉塞で入院をしました。実はこのとき、目鼻から吸収した化学物質が脳の中枢神経を攻撃し、脳の動きを止め、内容を腸に押し出していたのです。化学物質過敏症の診断ができる専門医は東京と大阪に2軒しかなく、わかったのは1年超経ってからでした。専門医からは「今と同じ生活を続けていたら、50歳くらいまでしか生きられませんか」と言われました。

原因の化学物質とは、洗剤や柔軟剤の中に入っている芳香成分でした。効果を持続させるため、香料は微小なマイクロカプセルに封入されていますが、このカプセルがイソシアネートという、痛みやアレルギーを引き起こす有毒物質を含んでいるのです。

化学物質の影響は人によつて千差万別で、私の場合は、レノアやボールド、トップ、ファブリーズの香りを辛く感じ、とりわけレノアとアリエールの「ジェノール」洗剤は強烈です。飲食店の調理をしています

症状は、記憶機能が低下し物忘れが激しくなったことです。PM2.5用の防毒マスクを装着して仕事をしますが、防ぐことができるのは7割ほどです。香害と呼んでいます。香害と呼んではいますが、近頃登場した「無香料」のファブリーズなども私には苦痛です。低線量被ばくや電磁波公害などと同じで、生活

が、化学物質の臭いをさせたいお客さんが来店するだけで気絶しそうになります。今一番困っている

そんななか、米軍基地に反対するために月に1、2回京丹後に通い、基地のそばの平和菜園を耕してエゴマなどの有機作物を育てています。ここにはミサイルを補足するため「Xバンドレーダー」があり、ドクターヘリが飛べなくなるほどの強烈な電磁波を発生しています。今のところ私には影響はありませんが、電磁波も香害も、反応が現れない人は気付かないうちに多い多くの害を受けているはずで、畑を耕し、旬の物をバランスよく食べ、

に多大な支障が出ているにもかかわらず、感じない人には、なぜ私が苦しんでいるのか伝わりません。免疫が落ちていたり、疲れている人ほど症状が出やすいのは確かです。そのため、家族や友人関係にも大きな影響が出てしまいました。特効薬はありません。ゼロにするのは難しいのですが、なるべく化学物質から離れつつ、添加物の少ない食事を通じて、体の底から免疫力を上げていくしか治療方法がありません。

香害洗剤・柔軟剤を使わないで

周囲にいる私たちが香害に苦しむ人に対してできることは何ですか？

中塚：先に挙げた洗剤・柔軟剤を使わないでほしいです。使っている人が目の前にいなくても、バスや地下鉄の座席の繊維の中に化学物質が入り込んで毒素を発生させます。それに、売れなくなれば大手メーカーも製造をやめてしまう。香害について詳しく知りたい方は古井弘枝さん著「マイクロカプセル香害（ジャパンマシニスト社、2019年）を参照してください。

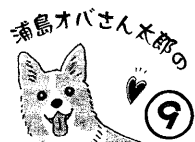
▼防毒マスクを首から下げる中塚智彦さん（食堂を営み、米軍基地に反対している）



が、化学物質の臭いをさせたいお客さんが来店するだけで気絶しそうになります。今一番困っている

そんななか、米軍基地に反対するために月に1、2回京丹後に通い、基地のそばの平和菜園を耕してエゴマなどの有機作物を育てています。ここにはミサイルを補足するため「Xバンドレーダー」があり、ドクターヘリが飛べなくなるほどの強烈な電磁波を発生しています。今のところ私には影響はありませんが、電磁波も香害も、反応が現れない人は気付かないうちに多い多くの害を受けているはずで、畑を耕し、旬の物をバランスよく食べ、

に多大な支障が出ているにもかかわらず、感じない人には、なぜ私が苦しんでいるのか伝わりません。免疫が落ちていたり、疲れている人ほど症状が出やすいのは確かです。そのため、家族や友人関係にも大きな影響が出てしまいました。特効薬はありません。ゼロにするのは難しいのですが、なるべく化学物質から離れつつ、添加物の少ない食事を通じて、体の底から免疫力を上げていくしか治療方法がありません。



## 恐ろしい仕事中毒

日本がくれない！

日本人はどうして、昼休みに仕事の話をするの？ ご飯を食べている時にどうして、昼からの仕事の心配をするの？ 心配しても、なにも変わらないはずなんですけど…。日本人ほど仕事が好きで、経営者でもないのに、休みの日の事まで心配する社員は日本人くらいじゃないの？

うちの職場では、仕事が終わっても、休憩室でお菓子を食べながら仕事の事を喋るといって、異常な行動が日常化している。私は一度も加わったことがないのだが、絶えがたき雰囲気があるにちがいない。

でも、日本人が仕事に命をかけていると感じたことは、今だけではありません。思えば、うら若き乙女だった浦島オバさんがF銀行ロンドン支店にOLとして勤めていた1985年頃のことです。駐在行員の「ミスター横山」という人がいた。30代前半で、「大人しく従順」を絵に描いたように模範的な行員でした。上司が行こうといわなければ、昼食も摂らないような真面目な行員。ある日、ミスター横山は酷い風邪で咳をしながらも作業をつづけていた。周りにいた現地採用のイギリス人社員たちが「具合が悪いなら、帰りなさい」と促しても「No worries（心配ないよ）」と言いつづける。そのうち、皆が怒り出して「うつ

から、帰れ！」と言いだした。するとミスター横山は静かに席を立ち、1人会議室に移動して作業を黙々と続けてたのです。

「なんて、奥ゆかしいの！」と思うでしょうが、その反面物凄いな事件が。ある朝、仕事を残してしまったミスター横山は、朝6時過ぎに職場に到着。警備員が「来るのが早すぎる。掃除の人たちが7時半までいるので、中には入れません」と言うのに対しミスター横山は、「仕事がある！」と抗い、警備員と激しい言い争いになり、警備員2人掛りでお客様専用の応接コーナーに連行されるほど暴れた。ああ！悲しいかなサラリーマン！

しかし、応接コーナーで大人しく待つようなフリをしていたミスター横山は、警備員が目を離した際にエレベーターまで猛烈ダッシュ！見事5階オフィスに到着してしまったというのだ。仕事中毒というのは恐ろしい！

ミスター横山の武勇伝は後々まで語り継がれましたが、その後、F銀行は他の銀行に合併され、浦島オバサンを含む650人以上の現地採用社員はリストラされました。風のうわさでミスター横山は、合併後の東京支店にいたとか、いないとか。

### 有給とらない不思議

それから、仕事が好き過ぎて、日本人は有給を取らない。私は最近、有給で沖縄旅行を

しましたが、うちの会社では誰も旅行のために有給を取らないという不思議。有給は、通院や法事、子どもの学校行事など、楽しくなさそうなことにばかり。イギリスでは、上司が部下に有給を取るよう求めます。部下に有給を取らせない管理職は、マネージメントできない無能な上司と評価されるからです。

しかし日本は逆で、部下が有給を取ると「部下をコントロールできない、バカ上司」とでも評価されると思っているのでしょうか。私の同僚も「取れない雰囲気、あるよね」なんて言いますが、私は全然ないと思う。それは自分で自分に呪いの言葉をかけているだけ。私が「労働者の権利だよ」と言うと、皆困った顔して苦笑い。権利は放棄？ということかな？

そうそう、ミスター横山のその後ですが。私がリストラされ看護大学を卒業して精神科の看護婦になって3年目。友人のクリスが、日本食レストランに行きたいというので、ある金曜日の夜に出かけたら、なんと私たちのテーブルの隣にミスター横山が！！話によるとミスター横山は、合併後のM銀行東京支店で活躍の後、ロンドン支店に支店長補佐として駐在しているとのこと。

そうか。警備員をぶっちぎり、早朝から仕事に励んだ努力が報われたのか～。彼の40代の髪は真っ白で、クリスは「60才代じゃないのか？」と驚いたほど。それでも、仕事が大変な日本人。やっぱり、すくなくいやんか！（ミフィ）

ロスジェネ世代の労働と社会の責任②

正規雇用のレールからはずれると元に戻れない日本の雇用

外資系企業でうつ病発症

大阪市民 S・W
社以上契約していた人材紹介会社への対応、その他の業務で、すっかり疲弊しきっていました。

私は大学を1997年3月に卒業しました。いわゆる就職氷河期世代です。1995年の晩秋から1996年の夏が就職活動の日々でした。当時はまだインターネットは普及していません。学内の就職部や新聞などで情報を集め、200社以上に手書きの資料請求ハガキを送り、30社以上の会社説明会に参加して、書類選考が通った企業の面接を受けました。1996年の7月に2社から内定をもらい、東京の外資系IT企業に入社すること

給与額の変化(5年前との比較)

Table with 2 columns: Age Group (e.g., 20~24歳) and Salary Change (e.g., +5,200円)

スピードは半端ではなく、毎夜12時過ぎまで残業をし、土日出勤しても終わらないほどでした。完全に過労でした。この企業では中途採用業務を担当していたのですが、毎日50〜60名の書類選考、面接日時のセッティングや面接準備、150

東京でうつ病が回復しないこともあり、両親から強く説得され、私は2005年春に大阪へ帰郷しました。帰郷前は「ゆつくり養生すればいい」と言われていたのですが、帰ったらすぐに「いつ働くのか」と圧力をかけられる毎日で、うつ病の療養どころではありませんでした。

親からの圧力と病気の悪化

我が家の生活のしづさは続いています。

そこで私は、当面フルタイムの勤務は難しいと考えて、日雇い派遣会社に登録してアルバイトをしたり、工場や社会福祉法人でパートタイム的な仕事をして過ごしました。病状が落ち着いたら正社員として働こうと考えていたのです。

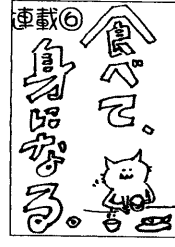
しかし、大阪での就職活動は非常に困難でした。私の転職の多さや年齢も原因と考えられますが、まず東京と比較して圧倒的に求人が少ないのです。加えて両親からの過度の干渉がストレスになり、

うつ病が悪化して就職活動ができない時期もありました。団塊世代で公務員の父親からは、ひどくなじられました。内定書類一式を見せても、「オマエみたいなヤツにこんな給料を出す会社があるわけがない」と一方的に言われ、提出書類をそろえられず、せっかく内定した企業を辞退せざるを得なかったこともありま

諦められない正社員雇用

いまも私は正社員を目指して就職活動をしています。契約社員や派遣社員も含めて探しています。「人手不足」と言われま

すが、それは20〜30代の若い年代であって、私のような人数が多い40代の氷河期世代ではありません。このような不公平で不公正な雇用状況を是正しない限り、安定した仕事と生活を求める氷河期世代の切実な要望は実現されないと思っています。政府(内閣官房)が中心となり、「就職氷河期世代支援プログラム」が来年度から実施されますが、「絵に描いた餅」になるだろうと醒めた目で見ています。



ウーバーイーツとわたし
②お店の苦勞編
~とあるインド料理店でのひとコマ~

木澤 夏実 (げいすぽとこはく)

モウカツテナイ、タイヘン
ウーバーイーツ(以下ウーバー)と表記して書こう!と意識して生活してみると、よく見るチエーン店から小さな個人店に至るまで、あらゆる飲食店に「ウーバー始めました」と書かれたステッカーが貼られていることに気が付く。

先日ひとりでふらりと入った馴染みのインド料理屋の入口にもそれを発見してしまい、なんだか我慢ならず、料理が出来上がるまでの数分間でインド人店主にインタビュールを決定した。「ウーバー、

もうかつてまっか?」と。結論から言うと「モウカツテナイ、タイヘン」らしい。ウーバーのサービスを導入する際に、初期手数料はかからない、ということに気が付く。ウーバーのサービス導入時に必須と規定されているタブレット端末の購入費、配達用の料理を盛り付ける密閉容器の仕入れ代、注文が重なって起こる混雑を見越した人員強化にかかる人件費など、後々かかってくる経費は馬鹿にならない。ウーバー経由で注文された料理は配達完了後に代金の35%が手数料としてウーバー

社に支払われ、その手数料の中から配達員に仕事料が渡る仕組みとなっているため、店側は経費の元を取ることはおろか、ちよつと気を抜けば簡単に赤字を出してしまう。もつとも、店側がウーバーを導入した大きな目的はその場での儲けではなく、まだ見ぬ客への「宣伝」なので、ウーバーを通じて料理を注文した客たちが料理の味・内容に満足し、その後実店舗へと食事をしに来てくれることを期待しながら、コツコツと頑張っているという。確かにタイヘンですけれど、ちよつとした苦

# レバノン、チリ、エクアドル、ハイチ 汚職・失業・貧困・格差に民衆反乱

『ザ・トリコンネンタル』10月24日

翻訳 脇浜義明

チリ・エクアドル・ハイチ・レバノンでは、民衆が反乱を起こしている。チリではAPEEC国際会議が中止され、レバノンでは首相が辞任した。日本では「森友・加計汚職」に続き億を超える税金を使った「桜を見る会」を安倍政権が私物化していたにもかかわらず、民衆は反乱を起こさない。安倍は市民をなめ切っている。(訳者)

レバノンでの反乱の契機は、携帯電話向けアプリ「ワッツアップ」利用への課税だ。チリでは地下鉄運賃値上げ、エクアドルとハイチでは燃料費補助金カットだった。しかし、現在ではワッツアップや運賃問題を越え、民意を無視して富裕層が優遇されていることへの怒りが人々を街頭へ駆り出している。

チリでは、1992年には6%だった成長率が1.5%に低下、主要産品である銅の輸出が鈍化。国民所得は上位10%が下位10%の25倍という格差(これに所有財産を加えるともっと大きくなる)だ。税制は逆累進性、しかも税をめぐる汚職が合法化されている。さらに2007年以降20回も値上げされた地下



鉄運賃が、また値上げされるのだ。これにより、通勤・通学の往復だけで所得の16%が費やされることになる。10月14日、中産階級の学生も抗議構造の汚職への怒りが加わって、民衆的反乱となった。

レバノンの支配層は汚職まみれだ。政治家は、公共工事の斡旋や公的サービスの優先提供で賄賂を要求する。2016年、設置された汚職対策省さえ汚職で訴えられた。2019年、緊縮財政で支出がカットされたが、逆累進性税制は維持されたまま。汚職も相変わらずだ。

ハイチでは、9月半ばから抗議が始まった。燃料不足がきっかけで、人口の半分のぼる500万人がデモや道路封鎖に参加した。彼らは、①大統領辞任、②外国投資の拒否、③エネルギー・経済危機に対する正しい政策を要求している。

政府は、警察を使って民衆を弾圧。20人以上が死に、数百人が負傷。さらに政治家と結びついたギャングが民兵として活動している。首都を含む主要都市は麻痺し、行政・商業活動も機能しなくなった。水道や食糧の配送も止まり、国全体が人道の危機に陥っている。

## ハイチでギャングがデモ弾圧

米州機構、国連を含む国際社会は、外国の介入を呼びかけるか、見て見ぬふりをするだけだ。しかも、保守派や野党の中道派と接触し、現政権の存続を画策している。

今年8月、トランプ政権は、南米ベネズエラに全面的な経済制裁を科す方針を打ち出し、米国内のベネズエラ政府資産を凍結した。これにより、「ベ

## カタールニヤ独立運動

# 過激化するスペイン政府 カタールニヤ抗議デモで暴力を挑発

カタールニヤ市民より寄稿 Laura Palau Tuset

カタールニヤは、独自の文化を持つスペイン北東の小さな地域で、中心地はバルセロナです。スペインからの独立を願いつづけてきましたが、スペイン政府による不当な扱いが続く、多くの人が独立運動に参加しています。10月18日には、独立を求める約50万人の平和的デモが行われました。

暴力シーンを作り出す作戦にでています。先週私たちが平和的にデモを行っていたところ、警察車両が道をふさぎ、大量の警察官が車から降り、ゴム弾を打ち放つたので、コンテナに火をつけ、道ブロックしました。テレビ局と新聞各社は、警察側の暴力ではなく、私たちの行動だけを報道しています。彼らは求めていた映像を手に入れたのです。「カタールニヤの



独立派たちは暴力行為に出た」というわけです。私には、子どももいません。平和主義者で、より良い、自由な国に住みたいだけです。スペインの弾圧がここまで過激になるだろとは、思いもよりませんでした。人権監視は、何年も前から進んでいたのです。独立派は、その犠牲になつていきます。スペイン政府は、悪者は独立派で、殴つても攻撃してもいい」とスペイン人に信じ込ませようとしています。この状態が進めば、私たちが殺してもいいと、信じ込ませるようになるでしょう。

現在、反乱は、2018年7月のゼネストを引き継ぐものである。これは、IMF勧告による燃料費の値上げに抗議したもので、150万人が街頭に出、首相を辞任に追い込んだ。

今年8月、トランプ政権は、南米ベネズエラに全面的な経済制裁を科す方針を打ち出し、米国内のベネズエラ政府資産を凍結した。これにより、「ベ

トロカリベ」(ハイチなどの国に安く燃料を供給していたエネルギー協定)が崩れた。そのうえ、IMFが燃料補助金削減を指示したために、燃料不足、燃料価格高騰、交通麻痺が起きた。通貨下落で、18%のインフレ、公的部門労働者の給料凍結を招き、それが長年の貧困、格差、失業、食糧不安の闘いと結びつき、民衆反乱となったのだ。



### 朝鮮高校無償化 除外裁判に注目を

要望：私が見た限りで、「最高裁 大阪朝鮮高校無償化裁判で原告の上告棄却」(8月27日)についての記事がありません。貴紙は大阪にあるのに、この事実やそれへのコメントが掲載されていないのはなぜですか。政府によるあからさまな民族差別を容認する司法の決定を許してはなりません。

今後、愛知・広島・九州と無償化裁判が続きますが、関西の情報を多く載せている貴紙が、この重大な人権侵害を連続して追いかけていないのが疑問です。

アベ政権は植民地支配への反省、謝罪を意図的に行わず、在日の人々への日本社会の偏見を利用する(実は政府自ら再生産している)形で無償化除外に固執しています。このような攻撃や圧力にめげずに民族学校で学ぶ生徒たちのためにぜひこの事を取り上げてください。朝鮮高校生の声を載せるなどしてください。お願いします。

(埼玉県・N)

### 東りの偽装請負を告発する争議

面白かった記事：10/15号のパレスチナ現地生活者のルポ、最高でした。取り上げて欲しい！

マ：関西と言え、なまユニオンの東りの偽装請負を告発し直接雇用を求めるL・I・A労組の争議だと思えます。法的にも新規性が高いので、カンパの呼びかけとともに取り上げてほしいです。(東京都・前田中門)

### 獄中短歌

毎号でも投稿したい 10月から発信回数1カ月に5回可能になりました。

短歌・俳句・川柳が毎月あるのなら、月2回できれば3回は投稿したいと意気込んでいます。楽しみにしています。(福島県・金愛淑 福島で2度目の冬を迎える)

### パワハラの記事を面白かった記事

面白かった記事：「辺野古の土砂投入STOP」に参加 自然を壊している者へのストップ行動に賛成だ。

取り上げてほしい！マ：労働問題(特にパワハラ)について取り上げて欲しい。負けるな、山田編集長。応援しています。(盛岡市・佐々木健吾)

記事が多様で身近になっている面白かった記事：11月5号3面の千葉災害報告は、報道ではよくわからない現地の具体的内容がよく分かりました。押しつけがましくなく、主体的で訴えてくるものがありました。これと合わせて、「ぶりずむ」のボランティアに対しての視点も大切だと思いました。「外人シフト」の話も面白かったです。

ただ、海外の記事はあまり興味がありません。記事が多様になり、より身近になっていると思います。息吹を感じます。(大阪市・赤木美恵子)

### 第25回釜ヶ崎講座 座講演の集い

仕事づくり集中講座5：農業分野の仕事づくりを釜ヶ崎で！農産物運搬と産消提携の先進事例に学ぶ

12月14日(土) 17時半～20時半/エルおおさか南館1023号室/資料代500円/事前申込不要/講演：新井利昌氏(埼玉福興株式会社代表取締役)/連絡先：090-2063-7704(釜ヶ崎講座)

# 日本共産党が香港 民衆支持に路線転換

団結香港工人市民・日本札幌小組 宮澤直人

日本共産党は、ついに「しんぶん赤旗日曜版」11月10日号で、鎌塚由美記者による香港民主化運動の現地ルポを掲載した。それは、ミゼラブルの劇中歌「民衆の歌」にはじまり、香港の民主主義と自由のための共同体について述べる香港の大学教授の言葉で終わる。このルポはそれまでの報道とまったく違う。8月17日の「しんぶん赤旗」は、人民日報に次ぐ中国共産党政府系新聞、環球時報を論評する引用し、

中国駐英大使の記者会見を論評して掲載している。中国の香港への直接介入の可能性を述べたこの記事と、11月10日の記事は雲泥の差である。この間に生じているのは、日本のブルジョアマスコミの香港民主化運動への同情的な報道が目立ち、日本民衆のあいだに中国共産党批判と香港市民への同情が形成されつつあることだ。

だが共産党は、1998年の日中共産党の両党合意があり、それに明記された内部問題への相互干渉を遵守しなければならない。だから共産党にできるのは香港市民への好意的な報道と、中国官憲への水面下の苦言だ。友党の離反は中国共産党に好ましいことではない。これも香港市民連帯のための行動となる。日本の社会運動はさらに香港連帯が必要だ。ああ、夢の日本労働者のストライキ！もし沖縄人民が香港のように闘ったら、我々はその蜂起の性質ゆえに支持をためらうだろうか？

## 贈呈本紹介

# 夢みる名古屋 ユートピア空間の形成史

著者：矢部 史郎 評者 編集部 園良太

「名古屋の本？ あまり行ったことも興味も無いし、ちよつと……」というあなたにこそ読んでほしい。著者は東京で現代思想についての執筆や社会運動を続けたのち、3・11東電福島原発事故の翌日に地元の名古屋へ避難移住をした。避難者/思想家として活動を続けている。

ついに移住先の名古屋についての本を出したが、題名は「夢見る/ユートピア」。「一方、帯の推薦文には「暗黒」。名古屋は日本屈指の大都市だ。だが「非常に車道が大きく、車優先で歩行者が分断されるため、全てが無機質に作られ

た都市だ」と著者は言う。名古屋が抱えるこの矛盾は、巨大都市開発の負の側面そのものだ。「名古屋の本？ 無理だよ、好きじゃないんだこの街は」と言いながら、近代日本の矛盾を一地域と時代区分で明確にした本書は、日本社会が行き詰まる今、全ての人に読まれる価値がある。

本書は二部構成で、第1章は名古屋米騒動が起きた「1918 鶴舞」。翌年の都市計画法制定以降、名古屋がどう都市計画を進めたかを解明する。

20世紀前半、都市計画と帝国主義政策は密接な関係だった。東アジアを侵略して軍事強国を目指した結果、農林業労働者を激減させ、都市部の商業・工業労働者を急増させる。名古屋も1920年から毎年1万5千人も人口が増え、市町村合併で面積は4倍に増えた。

米騒動は、急速な近代化への抗議だったが、その後名古屋の小地主や、暴動を牽引した産業労働者たちは、都市開発と産業報国会へ束ねられていく。近代化により近世的なものが崩されていくのではなく、逆に近世的なものを束ねることによって近代化が目指された名古屋を、著者は「ファシズム時代の標本」と呼ぶ。

第2章は「1965 小牧」。戦後復興を経て、自家用車の普及と車道が無制限拡大するモータリゼーションの時代だ。小牧インターチェンジはその中心となった。名神高速道路も開通した。しかし、社会の主役が人から車になることで、地域社会は人の手を離れた空洞化したことを「口裂け女」などの具体例で示している。

第3章は「1989 世界デザイン博覧会」。名古屋市の会場も周辺も真っ白に浄化された博覧会以降、日本中で都市から野宿者などを追い出す「シエントリフィケーション」が始まったことを肩事に解明する。

最後に著者は、名古屋に移った理由の「放射能汚染問題」を本書では除外したが、今後の重要な論点だと述べる。放射能被ばくは都市を根本から存続できなくさせる。本書の延長での新たな発信に期待したい。

